海外安全対策情報（2026 年７月～９月）

在バルセロナ日本国総領事館

１　社会・治安情勢

９月にマドリードにおいて 87 歳の女性が 70 年以上住んでいた住居から強制退去を命じられた事案の発生を背景に、マドリードのソル広場、バルセロナのカタルーニャ広場等、スペイン各地で逮捕者も出る大規模な抗議デモが実施された。９月 29 日には、政府が閣議決定を行った住宅法について投票が行われたが、僅差で否決され、10 月に入った現在も広場での泊まり込み等の抗議活動が続いている。

10 月５日、サンチェス首相は、首相府にて 11 月 29 日に総選挙を前倒し実施する旨発表したが、住宅問題は、スペインで大きな社会問題化しており、総選挙に向け今後も治安情勢含め、注意が必要な状況である。

２　一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）バルセロナ市内外及び同空港内外（レンタカー乗り場のほか、市内～空港間の移動電車内・乗換駅構内外を含む）においては、主に観光客をターゲットとした窃盗・強盗事案が多発している。すりや置き引きと比較した場合、首絞め強盗のように被害者を負傷させる犯罪の発生は少ないが、高級機械式腕時計や宝飾品の着用者、単独行動者に対する強盗事案は依然として散見されることから、犯罪被害のターゲットとならぬよう注意が必要である。また、空港におけるクレジットカードのすり替え詐欺も最近多発しており、要注意である。（下記３「最近の邦人の被害事例」及び４「防犯対策」参照。）。

（２）高級腕時計の強盗は実際に邦人被害者も複数名出ており特に注意が必要であるが、金のネックレス等の宝飾品も、バルセロナ市内を中心に白昼堂々と頻繁に強奪されている。引きずられる等、身体に危害が及ぶおそれがあり、また、警察に届け出たとしても被害品の回復は困難であることから、着用を避けることが賢明である。

（３）邦人旅行者の中には、鞄に入れていたパスポートやスマートフォンのほか、数十万円相当の邦貨・ユーロ貨も併せて窃取または強取されるケースが散見されるが、観光旅行中に極めて多額の現金を持ち歩くことは控えた方が良い。

（４）スペイン内務省は、近年インターネット上でクレジットカードや銀行の暗証番号等の情報を盗み取る電子詐欺が急増しているとして注意を呼びかけている。クレジットカード情報や銀行の口座情報を安易にネット上でやりとりしない、不審なメールは開かない、添付されたリンクを安易にクリックしない等の注意が必要

である。

（５）各州及びバルセロナ市の 2026 年１月～６月中の主要犯罪発生状況は以下のとおり(スペイン内務省発表。増減率は前年同時期との比較。)。

●カタルーニャ州の主要犯罪発生状況（2026 年１月～６月）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗・恐喝 ひったくり等	侵入窃盗	非侵入盗 （すり等）	自動車盗 （単車含）
2026 年	29 件	132 件	2092 件	5 件	2231 件	11320 件	9822 件	68767 件	3979 件
増減率	16.0%	+1.5%	+8.4%	−16.7%	−3.8%	+3.8%	−9.0%	−14.6%	−3.0%

●バルセロナ市の主要犯罪発生状況（2026 年１月～６月）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗・恐喝 ひったくり等	侵入窃盗	非侵入盗 （すり等）	自動車盗 （単車含）
2026 年	9 件	32 件	507 件	0 件	616 件	5902 件	1522 件	30650 件	1331 件
増減率	+80.0%	+52.4%	+2.0%	−100%	−11.7%	−0.7%	+0.5%	−21.1%	−1.7%

●バレンシア州の主要犯罪発生状況（2026 年１月～６月）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗・恐喝 ひったくり等	侵入窃盗	非侵入盗 （すり等）	自動車盗 （単車含）
2026 年	23 件	74 件	1948 件	9 件	1348 件	3010 件	7572 件	36384 件	1650 件
増減率	−21.1%	−17.8%	+6.1%	+28.6%	+7.2%	+2.3%	−6.1%	+2.9%	+3.3%

●バレアレス州の主要犯罪発生状況（2026 年１月～６月）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗・恐喝 ひったくり等	侵入窃盗	非侵入盗 （すり等）	自動車盗 （単車含）
2026 年	4 件	25 件	665 件	0 件	446 件	716 件	1218 件	11802 件	752 件
増減率	+300.0%	−10.7%	+6.9%	−100%	+15.2%	+9.8%	+3.4%	+8.8%	+17.3%

（５）邦人被害発生状況（カタルーニャ州、バレンシア州及びバレアレス州）

ア　2026 年１月から９月までの間、当館で認知した邦人被害に係る各種犯罪の合計は 81 件であり、うち約８割がバルセロナ市内外及び同空港内外（レンタカー乗り場のほか、市内～空港間の移動電車内・乗換駅構内外を含む）での被害であった。

イ　罪種別では、「置き引き」及び「すり（ケチャップすりを含む)」が最も多く、全体の 87%を占めている。被害場所については、以下のとおり（当館への届出に基づく集計結果)。

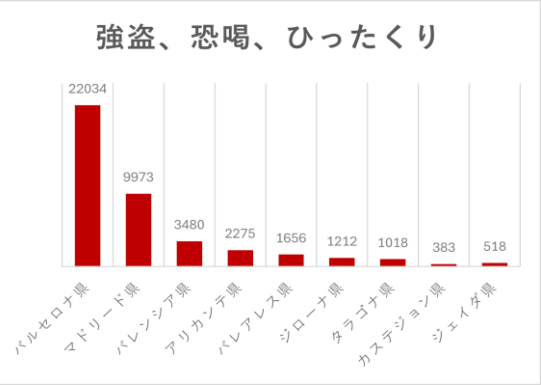
飲食店内　　28．7%（特に、観光地直近のバルやファストフード店）
路上・広場　　23．0%
駅・電車内　　14．9%（バス停・バス車内を含む）
観光地　　14．9%
空港内　　1．1%
ホテル内　　3．4%

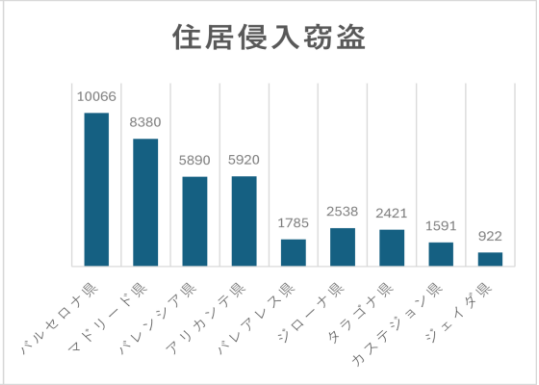
ウ　被害発生時間については、昼間帯（12 時～17 時台）が全体の約 41.4%と最多であり、観光地や昼食先、公共交通機関内での置き引き、すり被害が多い。夜間帯（18 時～23 時台）は夕食先での被害、早朝時間帯（７時～９時台）は、ホテル内の朝食会場やレセプション付近での被害が散見される。

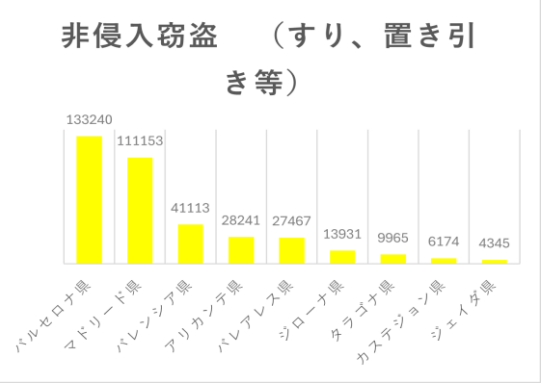
エ　当館に被害の届け出を行わない邦人も多数おり、実際には上記の数倍程度の被害が発生しているとみられる。

【参考資料】

内務省が発表した2025年における「強盗、恐喝、ひったくり」、「住居侵入窃盗」及び「非侵入窃盗（すり、置き引き等）」の県別発生認知件数（当館管轄地）を掲載します。
※参考としてマドリード県も掲載しています。







【参考】
日本政府が発表した「犯罪統計」によると、2025年中に日本国内で認知した「住居侵入盗、強盗、ひったくり、すり」の件数は下記のとおりです。

・住居侵入盗　　17,152件
・強盗　　1,428件
・ひったくり　　479件
・すり　　1,590件

３　最近の邦人の被害事例

（１）強盗

ア　腕時計強盗

・ボケリア市場付近の路上で、突然３人組の男に羽交い締めにされ、抵抗したものの相当な力で押さえつけられ腕時計を強奪された。発生時間は午前11時30分頃で白昼堂々の犯行であった。

・サンパウ病院近くのホテル前で、午後３時ころ、タクシーから降りたところ、突然２人組の男に腕時計を強奪されそうになった。時計を押さえて抵抗したところ、犯人があきらめて逃走したが、腕に少しケガをした。

・ピカソ美術館付近の路上で、４人組の若い男がジロジロと見てきたので怖くなり、走って逃げたところ、うち２名が追いかけてきた。すると突然、相当な力で腕時計を強奪しようとしたので、腕時計を手で押さえつつ抵抗したところ、数秒後に何も盗まず逃走した。周囲は人通りも多く、白昼堂々の犯行であった。

イ　バルセロナ市内サン・マルティ地区に所在する高級ホテル屋外喫煙スペースにおいて喫煙中、背後から突然水を掛けられ、直後複数名の男が近づき、濡れた服を拭こうとしながら鞄を体から離そうとするので抵抗したところ、男２名に体を押さえ付けられ、鞄を盗まれた。走って追いかけたが、エンジンの掛かった車に乗り込まれ、そのまま逃走された。ホテル内には警備員もいたが、誰も犯行に気が付いていなかった。

ウ　夕刻にサグラダ・ファミリア付近の路地を単独で歩いていたところ、背後から突然羽交い締めにされ、ポーチを強奪された。

エ　サグラダ・ファミリア付近のベンチに腰を掛けていたところ、近付いてきた人物が突然両肩を押さえ付け、横に置いていた鞄を強奪された。

オ　ピカソ美術館付近にて、金銭を出すよう脅されたことから、これを拒絶したところ、複数の男に囲まれて殴る蹴るの暴行を受けた。

カ　午後 11 時 30 分頃、バルセロナ市内中心部での夕食を終え、地下鉄４号線に乗車してバダロナに向かっていたところ、駅停車中に男が近づいてきて、突然金のネックレスを引きちぎって強奪した。

（２）ひったくり

ア　路上を歩いていたところ、キックボードに乗った若者が近付いてきて、あっという間に所持品をひったくられた。

イ　サンツ駅付近のホテル玄関前路上で喫煙していたところ、キックボードに乗った男が近づいてきて、貴重品が入ったポーチをひったくられた。

（３）置き引き

ア　サグラダファミリア近くのレストランのテラスで食事をしていた際に、鞄を

地面に置いていたところ、いつの間にかなくなっていた。

イ　バルセロナの海岸でシートを広げて座っていたところ、男が近づいてきて、すぐ横に置いていた鞄を持ち去った。

ウ　バルセロナ空港から市内へと向かう電車内において、突然二人組の男が目の前でコインをばら撒き、注意を逸らされている間に、隣席に置いていた鞄を盗まれた。

エ　バルセロナ空港から市内へと向かう電車のボックスシートに座っていたが、途中駅に停車した際、ホームにいた男が突然近づき、電車の窓越しに何かを話しかけてきた。その後、通路側の空席に置いていた鞄がなくなっており、盗まれたことに気が付いた（ホーム側の男が注意を引きつけている間に、車内にいた共犯者が鞄を盗んだものと考えられる。）。

オ　サグラダ・ファミリア付近の噴水前で写真撮影をした際、ベンチに座った知人の背後に鞄を置いていたところ、気が付いた時には鞄が盗まれていた。

カ　ランブラス通り沿いのレストラン店内において、床の上にリュックサックと鞄を置いて食事をしていたところ、気が付いた時にはリュックサックの上に置いていた鞄が盗まれていた。

キ　グラシア通り沿いのバル店内において、鞄を椅子に掛けた状態で食事をしていたところ、いつの間にか鞄が盗まれていた。

ク　バルセロナ空港内の搭乗カウンター付近で出発案内の電光掲示板を見ていたところ、真横においていたトランクと鞄がいつの間にか盗まれていた。

ケ　バルセロナ空港内で、突然見知らぬ男性に話し掛けられたことから、相手をしたところ、スーツケースの上に置いていた鞄がいつの間にか盗まれていた。

コ　サグラダ・ファミリア付近のベンチに座っていたところ、向かって左側から男が困った様子でスマートフォンの画面を見せながら近付き、話し掛けてきたので対応した。男が立ち去った後、自身の右側に置いていた貴重品入りの鞄が盗まれていた。

サ　ホテルの朝食会場内で、スマートフォンを見ながら食事をしていたところ、テーブルを挟んだ椅子の上に置いていた鞄がいつの間にか盗まれていた。

シ　ホテルの朝食会場内（ビュッフェ形式）で、自席に鞄を置いて食事を取りに行ったところ、戻った時には既に鞄が盗まれていた。

（４）すり

ア　交通機関での移動中や買い物中、気が付かないうちに所持品から貴重品類が抜き取られていた。

イ　地下鉄の改札を通り抜けようとしたところ、若い男２名がぶつかってきて、そのまま横を通り抜けた。思いっきりぶつかられたので不審に思ったところ、ポシェットに入れていた貴重品が盗まれていた。

ウ　混雑した郊外電車に乗り込む際、男１名が列を横切り、体の前面にぶつかってきた瞬間、ウエストポーチのファスナーが開けられ、中に入れていた財布を盗まれた。

エ　地下鉄駅構内の上りエスカレータに乗っていたところ、突然エスカレータが停止した。そして、背後にいた男が「トランクを上まで運んであげる」等と声を掛けてきたので、これを断ったが、強引に上まで運んでいった。その後、自身で運んだ鞄の中から、貴重品が盗まれている事に気が付いた。

オ　カタルーニャ広場付近を散策中、男が近付いてきて何かの勧誘を受けた。断ったところ、足を引っ掛けられ、その後に鞄内から貴重品が盗まれていることに気が付いた。

カ　バルセロナ空港内でエレベータに乗り込んだところ、突然背後から 10 名以上の男女が乗り込んできて大混雑となり、エレベータの開閉ボタンを何度も押して言い争いをしていた。集団に囲まれ、エレベータから出るに出られなくなったが、数分後にエレベータを降り、鞄の中身を確認したところ、貴重品が全て盗まれていることに気が付いた。

（５）ケチャップすり　※必ずしもケチャップを掛けられるとは限らない。

ア　空港近くのホテル前で午前６時頃に、突然背後から何者かに液体を掛けられた。仕方なく、持っていたショルダーバッグを服の汚れを拭くために置いたところ何者かに盗まれていた。

イ　地下鉄エウロパ・フィラ駅（空港線と近郊線の接続駅）周辺の大通りを歩いていたところ、突然、鳥の糞のようなものが頭と服にかかり、偶然近くにいた男（共犯者と思われる）の手助けを受けながら服を着替えていたところ、気が付いた時には足下に置いていたビジネス鞄が盗まれていた。

ウ　グラシア通りを歩いていたら男からリュックが開いていますよと声を掛けられた。確認をすると、今度は服に汚れがついていると言われ、ティッシュのようなもので拭かれ、男が立ち去った後に２つ持っていた鞄のうち１つが盗まれていた。

（６）パンク盗　※パンクのほか、様々な口実を使って運転手の注意を引きつける。

ア　バルセロナ近郊の高速道路サービスエリアで車をパーキングに止め、近くのゴミ箱にゴミを捨てに行ったところ、東欧系の知らない男に話しかけられ、対応している間に、共犯者が助手席に置いていた鞄を盗んでいた。

イ　バルセロナ市内をレンタカーで走行中、後方からバイクが近づいてきて、身振りで「パンクしているので、車を止めるように」と指示してきた。車内の全員が降車後、どのようにパンクの修理をするべきか説明を受けていたところ、共犯者に無施錠の車内から鞄を盗まれていた。

（７）クレジットカードすり替え詐欺

エル・プラット空港内において、日本に行くための搭乗予定フライトを逃した乗客を装った外国人が、英語または日本語で話しかけ、「代わりのチケットもしくは追加料金を支払う必要になったがクレジットカードが手元にないので現金を渡すから代わりにカード決済をして欲しい」と依頼してくる。その後、依頼に応えてチェックインカウンターもしくは券売機まで行き、カードを渡すと手続き中にデザインが似たような他人のカードにすり替えられ、カードを返却された後に自身のカードが盗まれたことに気づいた。

（８）その他

モンセラット駐車場にレンタカーを止め、２時間ほど観光して車に戻ったところ、車内に置いていたはずのトランクが全て盗まれていた（車上狙い）。

４　防犯対策

窃盗犯は多くの場合、２～３名のグループで行動しており、予め役割分担（声を掛けて気を逸らす役、窃取する役、被害品を搬送する役、等）を決めたうえで、ターゲットを物色している。

国家警察及びカタルーニャ州警察は、窃盗被害防止のための啓発ビデオを作成しており、典型的な犯行手口を紹介しているが、いずれの場合も、

・ターゲットが所持品から目を離した一瞬の隙を突いている。

・ターゲットの気を逸らせるため、意図的に声を掛けている、もしくはぶつかっている。

ことが分かる。よって、<u>見知らぬ人が突然「声を掛けてきた時」や「ぶつかってきた時」は、「犯罪発生の予兆」と考える方が良い。</u>

なお、邦人旅行者の多くが、日焼け防止用のつば広帽を着用している姿を目にするが、当地では非常に目立つ格好であり、窃盗犯に対して自身の存在を遠くまでアピールすることにも繋がりかねないので、特段の注意を要する。

また、既に述べたとおり、夏期は半袖を着用する機会が増加するが、屈強な男性でも高級機械式腕時計を一瞬で強奪されるケースが散見されることから、宝飾品が他者の目に触れないように注意する必要がある（そもそも身に付けない方が良い。どうしても着用したいのであれば、長袖を着て宝飾品を隠すこと。）。

【国家警察】

https://www.policia.es/_es/colabora_participacion_video_planturismoseguro_es.php

【州警察】

すり　https://www.youtube.com/watch?v=XnhnkKeR7oO&t=8s

ケチャップすり①

https://www.lavanguardia.com/local/barcelona/20260313/11488519/arrestan-barcelona-

ladron-acumula-27-detenciones.html

ケチャップすり② https://www.youtube.com/watch?v=eyqHB1LkJ20

置き引き① https://www.youtube.com/watch?v=Lyz7xoUophs

置き引き② https://www.youtube.com/watch?v=OnzOkdiOD28

置き引き③ https://www.youtube.com/watch?v=ZR_d1Uvky5s

【新聞社】

腕時計強盗 https://elcaso.elnacional.cat/es/noticias/video-robo-reloj-hublot-barcelona-mossos-esquadra_866346102.html

スマホ盗 https://www.youtube.com/watch?v=O7vNezERlrg

置き引き https://elcaso.elnacional.cat/es/noticias/extrano-efectivo-metodo-robar-barcelona-ladron-pillado-llevandose-bolso-pie_1487789102.html

（１）置き引き対策

ア　バルセロナ空港ターミナル内、レンタカー乗り場

→　深夜・早朝の仮眠は絶対に行わない（起きておくこと）。

→　数メートル先のゴミ箱や充電スポットに行く際も、荷物から絶対に目を離さない。

→　タクシーやレンタカーに乗り込む際は、特に荷物の行方に注意する。

イ　ランブラス通り沿線、グラシア通り沿線

（特に、観光地周辺のレストラン、ファストフード、カフェ店内）

→　食事中は、椅子の背もたれに荷物を掛けない。

テーブルの上に、スマートフォン等の貴重品を置かない。

スマートフォンの操作に夢中にならない。

通路や足下に荷物を置かない（常時視界に入る場所に置く）。

通行人が行き交うテラス席は危険。

店内でも、客を装った犯人が出没。

ウ　サグラダ・ファミリア周辺

→　写真撮影に夢中にならない。

→　写真撮影を依頼された時は要注意。

エ　ホテルのロビー、ホテルの朝食会場

→　空港同様、荷物から絶対に目を離さない。

オ　電車内

→　小さな鞄は、常に自身の目の前で抱えて持っておく。

トランク等の大きな鞄は、自身の背面に置くことなく、必ず目の届く範囲に置く。

（２）すり対策

ア　発生の約６割が、地下鉄車内と駅構内で発生しており、特に観光地と観光地を結ぶ路線や駅では要注意。

→　サグラダ・ファミリア駅、パセオ・デ・グラシア駅、リセウ駅、パラレル駅、エウロパ・フィラ駅、シッチェス駅を含む海岸沿いの駅

イ　地下鉄やバス車内では、混雑時に多発（身動きがとれない状況で囲まれる。自身の前後に、上着を腕に掛けた人物が立っている時は要警戒）。

→　通勤時間帯の混雑時に地下鉄やバスで移動しない。

（特に、トランク等の大きな荷物を抱えて移動しない）

→　地下鉄については、混雑率が比較的低い中間車両を利用する。

ウ　地下鉄駅構内では、券売機前と改札で多発。

→　人が話しかけてきた時、ぶつかってきた時は要注意。

エ　グエル公園内外、ピカソ美術館周辺の細街路、ボケリア市場

（３）ケチャップすり対策

実際にケチャップを掛けられることは少ないが、異臭を放つ液体を掛けられることが多い（手にした荷物を地面に置き、服を脱がせるため）。第一の人物が、「鳥の糞が落ちてきた」等と言って被害に気が付かせ、パニックとなっている間に、第二の人物がティッシュペーパーを持って近付いてくる。ティッシュペーパーで汚れを落としている間に、地面に置いた荷物を窃取される。

2025 年の下半期以降、急増している手口であり、最近も発生し続けている（前年比 1.7 倍増）。

・バルセロナ空港内　バス乗り場付近

・エウロパ・フィラ駅（バルセロナ空港に到着後、ホテルへの移動中に多発）

・カタルーニャ広場周辺、凱旋門周辺、サグラダ・ファミリア周辺

（４）ひったくり対策

シウタ・ベリャ地区に集中（リセウ駅周辺の細街路）

→　なるべく道路の端（建物側）を歩き、壁側の手で荷物を持つようにする。

（５）パンク盗対策

車のパンク等を口実に、第一の人物が運転手を車外へと出させ、注意を引きつけている間に、第二の人物が助手席側から車内の荷物を窃取する。

・レンタカーがターゲットにされることが多い。

・観光地周辺の駐車場やホテルの駐車場から出庫した直後に、通行人から「パンクしている」等と声を掛けられる。

・高速道路を走行中、「後部から煙が出ている」等と併走車両が声を掛け、路側帯に駐車させる。

→　車外に出るよう促されても、対応しない。

車外に出る必要が生じた場合は、確実に施錠をする。

（６）クレジットカードすり替え詐欺対策

空港で発生

→見知らぬ人物の依頼には安易に応じず、断り切れない場合は付近の航空会社職員や空港警察に相談する。

５　テロ・爆弾事件発生状況

（１） 2026 年１月～９月中の発生はなし。

（２） スペイン内務省は、テロ警戒レベルを「レベル４（高い脅威)」（全５段階）を維持しており、治安当局によるテロ対策が強化されている。

（３） スペインにおけるテロ情勢詳細については、以下リンク（「スペインにおけるテロ・誘拐情勢」）参照。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_161.html

６　誘拐・脅迫事案

2026 年１月～９月中の邦人被害にかかる事件は認知していない。

７　日本企業の安全対策に対する諸問題

2026 年１月～９月中の日本企業を対象とした各種事件や安全対策にかかる諸問題は認知していない。

８　「安全の手引き」の改訂（2025 年７月）

当地滞在時に必要な安全対策や事件・事故遭遇時の対処方法等を掲載した「安全の手引き」を改訂したので、滞在期間の長短にかかわらず、渡航前に是非ともご一読願いたい。

https://www.barcelona.es.emb-japan.go.jp/files/100652570.pdf